ドローンデータの
バックアップ・復旧チェックリスト

保存する対象・保管先・権限

会社・部署：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　案件：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

確認日：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　確認者：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

状況は「確認済み・要対応・対象外」から選択。空欄は未確認です。

1	写真・点群・成果物と、再処理に必要な関連データを一覧にした。
2	座標・標高の基準、処理設定、ソフトの版を記録した。
3	原本・作業中・納品確定版を分け、案件番号と版を識別できる。
4	失ってよい更新の幅（RPO）と、業務再開までの目標時間（RTO）を決めた。
5	元データとバックアップ2つの計3つを、2種類の媒体・保存方式に分けた。
6	少なくとも1つを別拠点に保管し、災害・紛失への備えを確認した。
7	ネットワークから切り離す、または変更・削除を制限するコピーがある。
8	復元できる過去の版、保存期間、削除条件を決めた。
9	普段のPC・共有アカウントから、全コピーを削除できない。
10	管理者権限と多要素認証、外注・退職者の権限を確認した。

要対応の項目番号・担当者・期限：

各項目の左の余白に、確認済み＝○、要対応＝△、対象外＝－を記入。

ドローンデータの
バックアップ・復旧チェックリスト

日常の運用・復元・初動

会社・部署：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　案件：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

確認日：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　確認者：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

状況は「確認済み・要対応・対象外」から選択。空欄は未確認です。

11 媒体の暗号化と保管場所、復号鍵の管理者・代替担当を決めた。

12 撮影・計測後のコピー完了を、件数・容量・代表ファイルで確認する。

13 原本カードの再利用条件を決め、コピー検証前に消去しない。

14 取得失敗・容量不足・期限切れを担当者が見つけ、対応を記録する。

15 クラウド停止・解約時のエクスポート形式、費用、期限を確認した。

16 正常な環境の別フォルダーへ戻す復元テストを実施した。

17 写真・点群・処理プロジェクトを、業務用ソフトで開いて確認した。

18 必要なデータ量と環境で復旧時間を測り、目標と比較した。

19 ログイン・復号鍵・ライセンスを含む手順を代替担当者が試した。

20 感染疑い時の隔離・証拠保全・相談先と、復旧の判断者を決めた。

要対応の項目番号・担当者・期限：

パスワード・復号鍵そのものは記入しないでください。管理者と保管先を記録します。

ドローンデータの
バックアップ・復旧チェックリスト

復元テスト記録　/　本番の原本を上書きしない別環境で実施

会社・部署：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　案件：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

確認日：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　確認者：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

対象案件・データ

戻す時点・バックアップの保管先

元データの容量・件数

許容する更新の損失幅（RPO）

業務再開までの目標時間（RTO）

実施者・代替担当者

正常性を確認したテスト用の端末・ソフト

開始日時・終了日時・実測時間

写真・点群・処理プロジェクトの確認結果

件数・容量・必要に応じハッシュの照合結果

暗号化・権限・ライセンスの確認結果

判定・残った課題・改善担当・期限

実際の事故では、責任者・保守会社・専門家の指示に従い、調査用のログや証拠を保全してから復旧方法を判断します。バックアップは、情報の持ち出しそのものを防ぐ対策ではありません。

参考：IPA「情報セキュリティ10大脅威2026」解説書［組織編］50〜51ページ。

公式資料とブログ：

https://skylinkjapan.com/?p=105046